

研究名： 肺葉切除後の呼吸機能に関する後方視的研究

1．研究の目的

1歳までに肺葉切除を行えば、残った肺が代償して健常児と同程度の呼吸機能を呈するようになると言われていますが、実際に呼吸機能を検証した報告は少ないです。そこで今回、当科で開胸肺葉切除を行った症例の術後呼吸機能を検証することとしました。

また、近年、肺葉切除を胸腔鏡手術で行う施設が増えてきました。他施設の胸腔鏡術後患者の呼吸機能検査の結果と比較検討もを行い、手術アプローチの違いが与える影響も検討する予定です。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2009年1月～2021年12月までに先天性肺疾患の診断で肺葉切除術を受けた方のうち、呼吸機能検査を施行済みの方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2年間

研究方法：電子カルテから下記に示す情報を収集して検証します。また、他施設の検査結果と比較検討します。

3．研究に用いる情報の種類

病歴（年齢、性別、出生前診断の有無、診断名）、手術関連情報（手術時年齢・体重、手術時間、出血量、術式、合併症の有無）、呼吸機能検査データ、等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部 外科 石丸哲也

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7366）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部 外科 石丸哲也